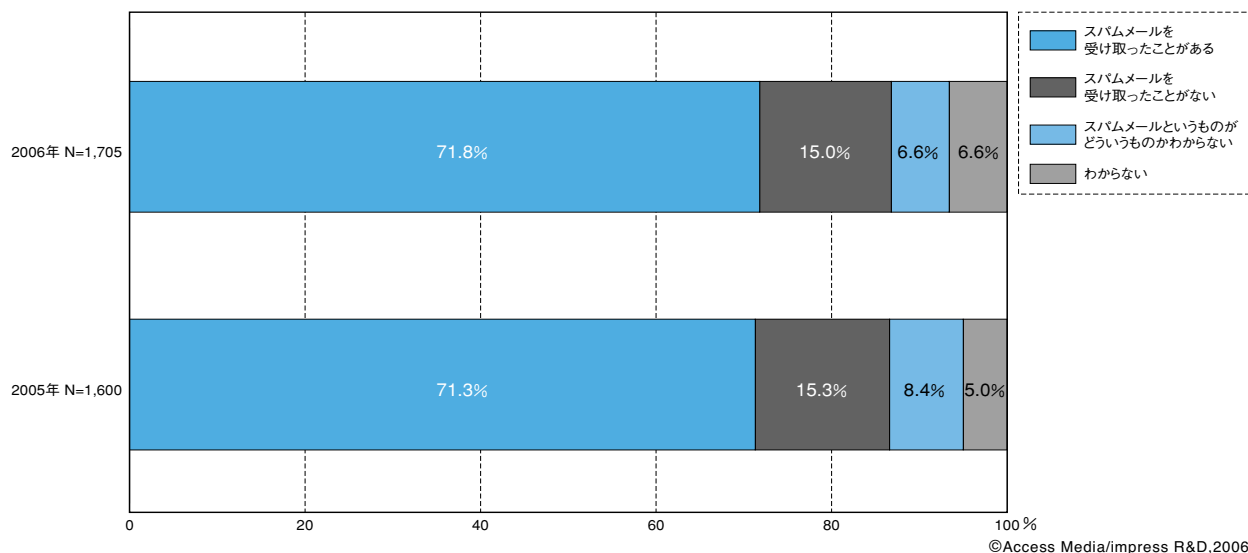


# スパムメール

## 迷惑（スパム）メールの受信経験率は71.8%

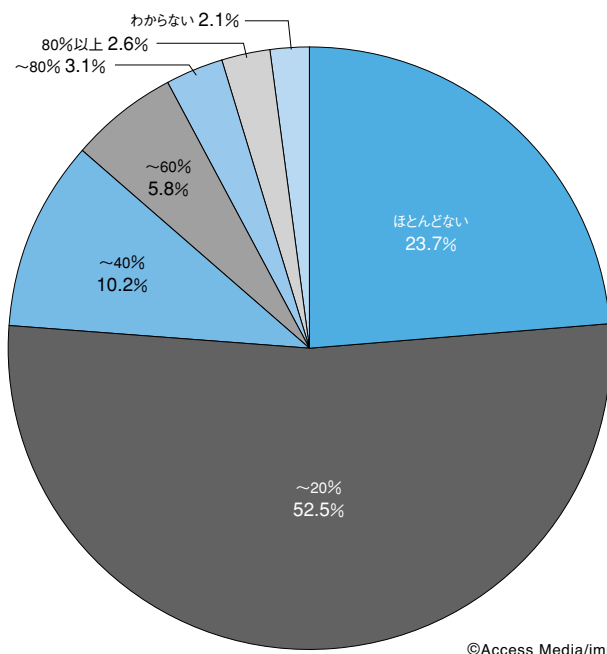
資料2-10-5 迷惑（スパム）メールの受信経験 [2005年-2006年]



未承諾の売り込み、勧誘、嫌がらせなどの「迷惑（スパム）メール」の受信状況について聞いた結果である。昨年とほぼ同率で「受け取ったことがある」が7割を超える。個人がメールマガジン登録、アンケート参加、またはオンラインショッピング購入などの際に、告知メールの受信有無を確認せずに画面を終了して、売り込みメールなどを受け取る場合なども多いと思われる。

## 過半数のユーザーの受信メールの20%が迷惑（スパム）メール

資料2-10-6 受信メールに占める迷惑（スパム）メールの割合 N=1,224

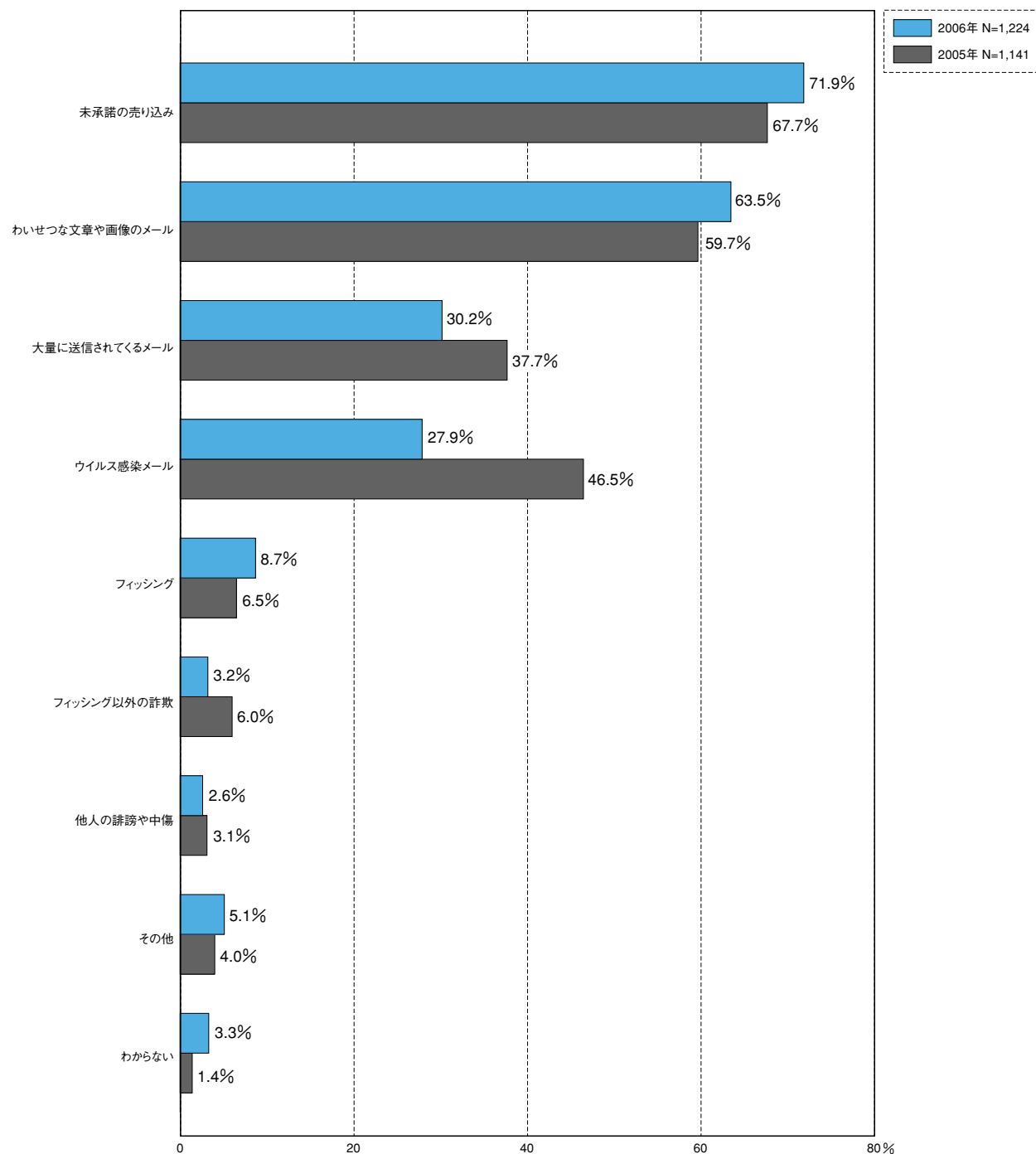


今年から加えた設問であるが、受信メールに占める迷惑（スパム）メールの割合について迷惑メール受信経験者1,224サンプルに聞いた結果である。受信メール全体の「20%まで」との回答が半数を超える。スパムメール受信の割合が高い利用者は、オンラインショッピング購入頻度が高い利用者に比較的多くみられる。

## スパムメール

## 受信内容は未承諾の売り込み、わいせつな文章や画像メール

資料2-10-7 迷惑（スパム）メールの受信内容（複数回答）[2005年-2006年]



©Access Media/impress R&amp;D,2006

迷惑（スパム）メール受信経験者1,224サンプルの受信内容は、「未承諾の売り込み」が圧倒的に多く、7割を超える。また、「わいせつな文章や画像のメール」も63.5%と、2005年と比較すると増加している。一方、2005年より減少したのは「ウイルス感染メール」「大量に送信されてくるメール」で、3割程度におさまっている。個人のセキュリティ対策が功を奏しているといえる。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)